

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19011
研究開発課題名:	体表特徴点位置計測による放射線治療中の患者体動モニターの実用化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	国立成育医療研究センター 放射線診療部 診療部長 藤 浩

1. SCORE での活動目的

新型患者体動モニターは、従来の機器よりも高速・高精度であり、快適で、高精度な放射線治療を実現できる。しかし本装置は使用機会が限られている、購買者のメリットがわかりにくいという点が、初回実装を目指すうえで問題となる。従来の体動モニターの使い勝手やニーズ、そして新型患者体動モニターの特性から期待される使用用途、製品価値について顧客候補から情報収集する。これらの情報をもとに、新型患者体動モニターの製品価値の性能を決定し、試作機を作成する。また新型患者体動モニターのビジネスモデル仮説を策定する。試作機を用いて、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの検証に取り組む。

2. 総合所見

社会的意義の高い課題に挑戦し、国内外の放射線治療関係者や施設に対して着実なヒアリングを行い、適切に活動を進めた点を評価する。放射線治療装置の付属品であるため、単独機器としてのビジネスモデルが作りにくいと考えるが、公的支援制度などを利用して効果的な展開ルートの探索を進めることを期待する。

以上